



熊本で家を建てるならこの一冊

くまもと 家づくりの本

vol.29

定価 **782円**
(本体価格724円)



【特集1】

マイホームへのはじめての一步

土地さがしのコツと注意点

【特集2】

熊本の風土に息づく瓦のある家

【特集3】

プロに聞く、家づくりの賢い資金計画

By ARUHI 熊本流通団地店

夢をカタチにした! 熊本で叶えた

理想の住まい、26 実例



4mの広さを誇る濡れ縁が暮らしに余裕を感じさせる。梁と軒柱、格子の手すりも和の趣を演出

Japanese Resort

屋根の直線、軒の水平線、等間隔に並ぶ格子の縦線と、縦横の直線が作る和の美しさが粋だ

熊本の 風土に息づく 瓦のある家

デザイン面でも、機能面でも大切な一役を担うのが屋根。様々な素材が使用されている中で、耐久性に優れ、長期優良住宅にも適した石州瓦を使った家に注目した。



7mの高さがある開放感抜群のリビング。右上部の壁に木枠と柄のクロスで絵画風のアクセントを



大屋根が作り出す日本美。 深い軒がもたらす 陰影の趣

両親のために建てられたというFさん邸。大屋根が包み込む安定感、深い軒が生み出す陰影の穏やかさ、植栽の木立と家とのコントラストなど、重厚感と高級感を醸し出すたずまいが印象的。Fさんが希望したデザインは、「和風」かつ「リゾート風」。それを象徴する一つが、南側に設けられた4メートルもの濡れ縁で、それを覆う深い軒だ。古木の風合いが活きる梁と軒柱は、それだけで温泉宿のような風情を醸し出している。Fさん家族は、夏は夕涼みの場、冬は陽だまりで暖を取ったりと、一年を通してここから季節の移ろいを楽しむそう。また、全ての部屋が濡れ縁に面するようカギ型の間取りが採用されているため、部屋の中に居ながら軒越しに庭の景色を楽しめるのも魅力的だ。

瓦ならではの風合いが 重厚感ある 家の雰囲気演出

「家にどんな建材を使うか、それは家のデザインや雰囲気決めていきます」と語るのは、Fさん邸を手掛けた㈱エバーフィールドの代表取締役である久原さん。Fさんの希望である「和風」「リゾート」を叶える全体的な雰囲気やデザインが設計され、そ

れを実現させるため大屋根には石州瓦が採用された。「やはり瓦でなければ出せない質感や雰囲気があります。瓦は重いから地震に弱いと思っている人もいますが、構造がしっかりしていれば問題はありません。太陽光発電システムも載せられます」とのこと。美しく強い家。それはプロによる細やかな計算の上に成り立っている。



伝統技法の“なぐり上げ”の建具と縁なし畳など施主さんお気に入りの和室



大屋根には瓦を、下屋にはガルバリウム鋼板を使用。適材適所で様々な建材が使われる



リビングから望むウッドデッキは迫力満点。重ね切妻の屋根と玄関部分の洋風デザインがマッチしている

天然杉の色と香りが活きる
平屋の家

施主のYさんが希望したのは、老後も心豊かに暮らせる家。将来の居住性と利便性を考えた結果、家族にとって必要なスペースを広く確保した、シンプルで平屋を建てることに。

こちらの特徴は何と言っても随所に使われた天然杉。元は製材所からスタートした(株)立山建設が手掛けているだけに、リビングで存在感を放つ大きな梁をはじめ、壁、床、天井、柱などさまざまな場所に上質な天然杉があしらわれている。「天然杉の鮮やかな色と香りが住む人ももちろん、お客様もおもてなしし、心からくつろがせてくれます」と代表取締役



リビングとつながりの和室は、天窓からの採光で暖かみのある空間に。床の間にも窓を設け現代風に



開放的な空間に天然杉の迫力ある梁が映える。キッチン是对面式で大所帯のお客様でも余裕の広さ

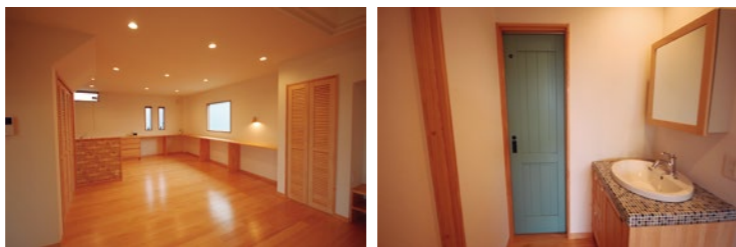
役の立山さん。家族の歴史を重ねることに、経年変化を楽しめるのも天然杉の魅力だ。

デザインは、純和風の中に現代風の要素を取り入れた、和モダン。のYさん邸。内観を見ると、大胆に梁を見せる伝統的な和のたたずまいの中に、照明としてスポットライトを採用することで、洗練された現代的な雰囲気プラス。一方、外観を見ると、広いウッドデッキに重ね切妻の瓦屋根、そして玄関周りはスクエア型の洋風のサイディングと、和と洋、異なる素材を組み合わせることで、遊び心のある仕上がりに。デザインも素材も、型にとらわれず、自由な発想でコラボレートすることが可能だ。

Other style

混せ葺きの瓦が印象的な
プロバンス風住宅

熊本地震を受け、金属屋根にするか瓦屋根にするか迷われた施主さん。ただ、希望だったプロバンス風の家を実現するには、瓦がベストマッチだという結論に。なかでも、住まいに趣きと格調を与える窯変調の瓦を採用された。さらに、数色の瓦を組み合わせる「混せ葺き」でプロバンス風の屋根を再現。また、瓦の形状は、太陽光発電システムと相性が良い平板瓦を使用している。



緑の瓦屋根がインパクト大！
お店を象徴する緑の大屋根

天然石の店「ピラソル」。まるで絵本から飛び出したような可愛らしい外観が目玉。凹凸感のある外壁は、天然石が一つひとつ埋め込まれているというから驚き。また、その外壁に合わせて選ばれたのが緑の瓦屋根。この緑色、塗装ではなく、釉薬を施し焼しめた陶器瓦のため変色せず、長くこの色と風合いを保つことが出来る。



幅広い世代が集う場所だから
地域が誇れる公民館に

白壁と板壁の黒のコントラスト、そして堂々とした大屋根が特徴の城南町「舞原公民館」。入母屋屋根と深い軒が高級感を漂わせ、コンパクトながら重厚な存在感を放つ。のどかな田園風景が残る周辺地域になじんでいる。



■取材協力
名品は永遠
石州瓦工業組合
〒695-0016 島根県江津市嘉久志町1405
TEL0855-52-5605
http://www.sekisyu-kawara.jp/

屋根の学校 検索